



関東財務局「さいたま活性化サロン」

夢があるから強くなる ～世界を目指す日本サッカー～

2019年4月16日

日本サッカー協会 会長/FIFA理事

田嶋 幸三

JFA2005宣言

2005.1.1



JFAの理念

サッカーを通じて
豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と
社会の発展に貢献する。



JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの強化に努め、
日本代表が世界で活躍することで、
人々に勇気と希望と感動を与える。

常にフェアプレーの精神を持ち、
国内の、さらには世界の人々と友好を深め、
国際社会に貢献する。

DREAM

夢があるから強くなる



「JFA2005年宣言」

2015年の約束
2050年の約束

我々の**ミッションステートメント**であり、
日々のあらゆる活動を方向付けるもの

ビジョン 継続性

50年後、100年後を見据えたプラン
追求し続ける



夢を力に
2018

多くの声援ありがとうございました。

西野 朗



2018 FIFA WORLD CUP RUSSIA
SAMURAI BLUE

覚悟

SAMURAI BLUE 西野 朗監督



本 気

2018年6月14日～7月15日 ロシア



グループH

6月19日 コロンビア 対 日本 1-2



6月24日 日本 対 セネガル 2-2



6月28日 日本 対 ポーランド 0-1





JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの強化に努め、
日本代表が世界で活躍することで、
人々に勇気と希望と感動を与える。

常にフェアプレーの精神を持ち、
国内の、さらには世界の人々と友好を深め、
国際社会に貢献する。



2018年6月14日～7月15日 ロシア

決勝トーナメント



7月2日 ベルギー 対 日本 3-2



2018年6月14日～7月15日 ロシア



優勝

フランス



2018年6月14日～7月15日 ロシア



育成をしっかりとやっている国ばかり

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 そして2022カタール大会に向けて



森保 一

土井首SSS

長崎市立深堀中学校

長崎日大高校

日本代表 35試合（ドーハの悲劇）

Jリーグ 293試合

サンフレッチェ広島監督

トップチームコーチ

育成コーチ

U19/U20日本代表コーチ

ナショナルトレセンコーチ（中国地域）

キッズリーダーインストラクター

BRINGING ASIA TOGETHER
JANUARY 5 - FEBRUARY 1, 2019



グループF

1月9日 日本 対 トルクメニスタン 3-2



1月13日 オマーン 対 日本 0-1



1月17日 日本 対 ウズベキスタン 2-1



BRINGING ASIA TOGETHER
JANUARY 5 - FEBRUARY 1, 2019



ラウンド16

1月21日 日本 対 サウジアラビア 1-0



準々決勝

1月24日 ヴェトナム 対 日本 0-1



準決勝

1月28日 イラン 対 日本 0-3



決勝

2月1日 日本 対 カタール 1-3



AFC アジアカップ[®] UAE 2019

準優勝



AFC アジアカップ[®] UAE 2019



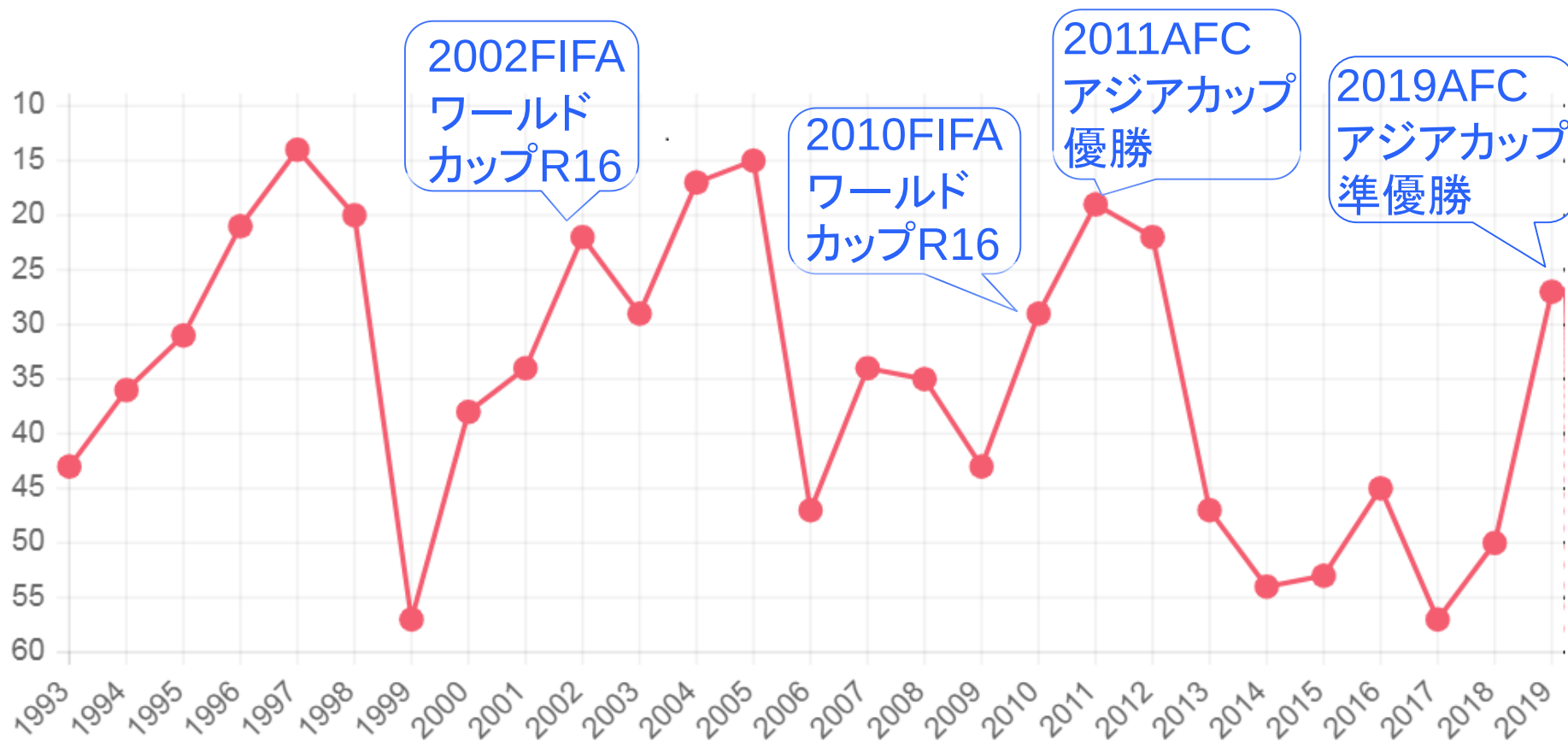
順位	国名
優勝	カタール
準優勝	日本
3位	イラン、UAE
ベスト8	オーストラリア、韓国、中国、 ベトナム
ベスト16	キルギス、バーレーン、イラク、ウズ ベキスタン、サウジアラビア、タイ、 ヨルダン、オマーン



FIFAワールドランキング

1993-2019

2019年2月7日現在



AFC ビーチサッカー選手権 タイ 2019 優勝



FIFA女子ワールドカップ° ドイツ 2011 なでしこジャパン 優勝



女子の普及 !!

理由がある

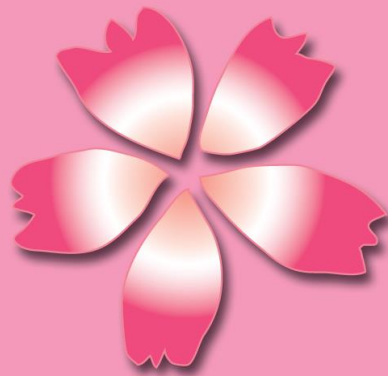
偶然に強くなったりはしない

なでしこ vision

「なでしこvision」は、

日本女子サッカーの発展のために、そして「JFAの理念、ビジョン、約束」を実現するために、女子サッカーに関わるすべての人々の目標として定め、共有し、遂行していくものである。

- 1. サッカーを日本女性のメジャースポーツに。**
- 2. なでしこジャパンを世界のトップ10に、
そしてトップ5に。**
- 3. 「個」を世界基準に。**
- 4. 「なでしこ」らしく。**



なでしこ vision

世界のなでしこになる。

日本女子サッカーの発展のために、そして「JFAの理念、ビジョン、約束」を実現するために、
「世界のなでしこになる。」というビジョンのもと、
女子サッカーに関わるすべての人々が共有し、遂行する、3つの目標を定める。

1. サッカーを日本女子のメジャースポーツにする。

- ❖ 男女を問わず、サッカーを気軽に楽しめ、生涯かかわり続けられる環境をつくる。
- ❖ 少女・女性もするスポーツ、そしてみんなから愛される・応援されるスポーツとして、女子サッカーの認知度を上げる。
- ❖ 近い将来、FIFA女子ワールドカップを日本で開催する。

2015年、女子のプレーヤーを300,000人にする。

2. なでしこジャパンを世界のトップクラスにする。

- ❖ U-20/U-17ワールドカップに出場。ひとつでも多くの試合を経験し、メダルを目指す。
- ❖ ワールドカップ/オリンピックに出場し、メダルを獲得する。

2015年、FIFA女子ワールドカップで優勝する。

3. 世界基準の「個」を育成する。

- ❖ なでしこジャパンにつながる、タレントの発掘・育成システムを充実させる。
- ❖ 女子に携わる指導者のレベルアップを図る。

そして、「なでしこ」らしく・・・。

「なでしこ」らしい選手＝日本女子サッカー選手の姿、目指す姿

「なでしこ」らしさとは

ひたむき 芯が強い 明るい 礼儀正しい

「なでしこ」らしい選手になろう！「なでしこ」らしい選手を育てよう！

なでしこジャパン 高倉 麻子監督



AFC女子アジアカップ ヨルダン 2018 なでしこジャパン 優勝



FIFA女子ワールドカップ フランス 2018

U-20日本女子代表 優勝



アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン) なでしこジャパン 優勝



Japan's Way

2006 ~

日本は、世界のサッカーの発展傾向を見続けながら、世界の強豪から多くを学びながら、自国のシステムを整え発展をしてきた



世界のトップ10

世界に打って出ていくためには、それだけでは不可能である。

強豪のコピーをするのではなく、

日本の良さを生かした

日本人らしさを追求し、

確立する必要がある

Japan's Way

Japan's Way

日本人の特徴

デュソー氏・オシム氏・ザッケローニ氏
FIFAのテクニカルレポート等、
海外から認められている

- 技術力（器用さ）
- 俊敏性
- 持久力
- 組織力（和を大切にする文化）
- 勤勉性
- 粘り強さ等
- フェアである



- ★なでしこJAPAN⇒2011年ワールドカップで
体格やパワーで勝るアメリカやドイツを相手に戦った
- ★U-17世界大会での2大会連続の活躍。海外からの賞賛
- ★選手も認められて、男女ともヨーロッパの強豪クラブで活躍

Japan's Way

Japan's Wayとは**特定のチーム戦術、ゲーム戦術を示す言葉ではなく、日本人の良さを活かしたサッカーを目指すという考え方そのものであり、イメージの共有のための言葉である**

日本人の良さを活かしたサッカーのための「基本」

テクニック(技術＋判断)

攻守に関わり続ける個人戦術

持久力(運動量)

育成年代でこそ、身につけられる
育成年代で幹として共有して取り組む

属人的 → システムとしての強化体制

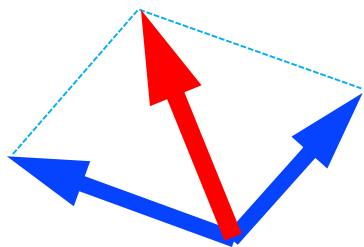


経験の蓄積



方向性の共有

ベクトル



属人的 → システムとしての強化体制

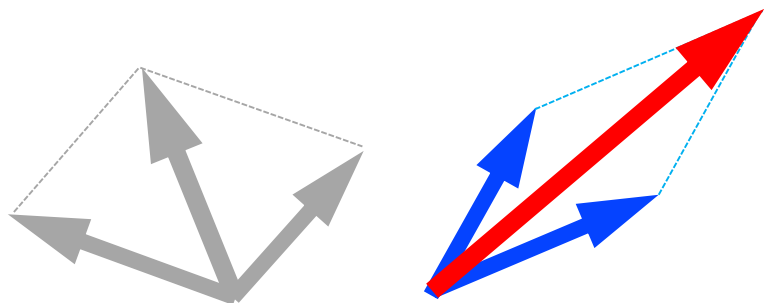


経験の蓄積



方向性の共有

ベクトル



三位一体＋普及の強化策

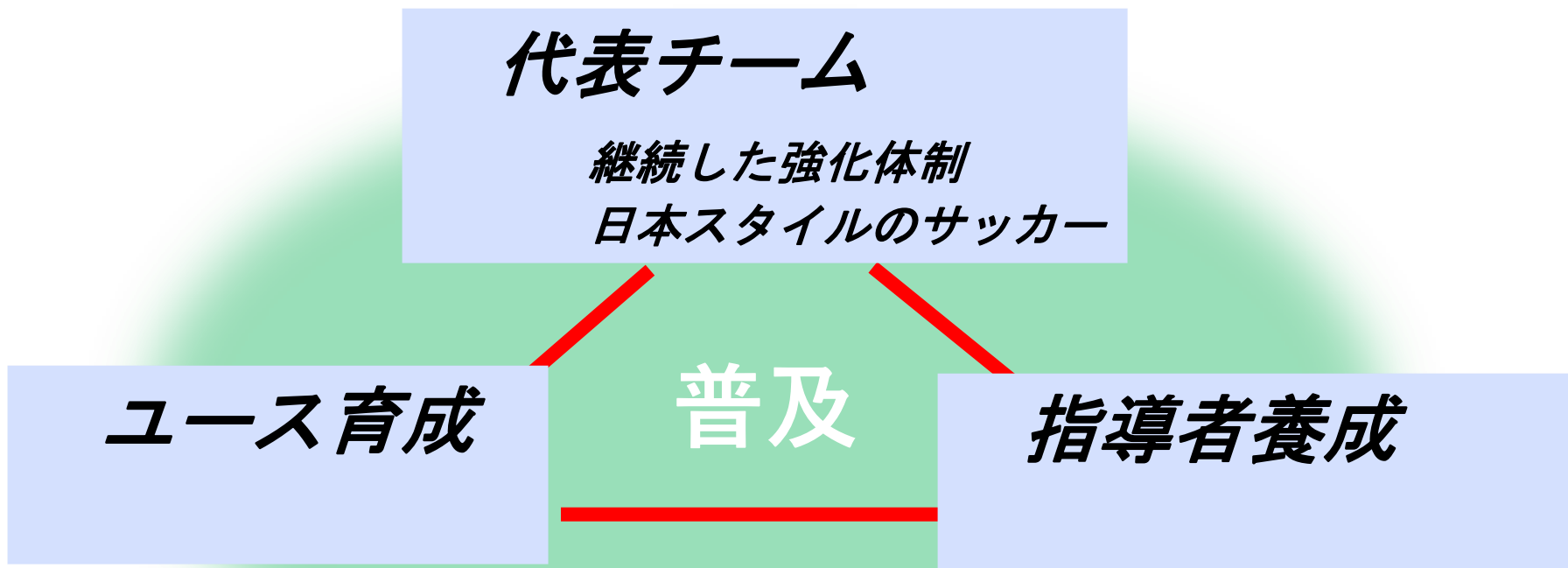
代表チーム

継続した強化体制
日本スタイルのサッカー

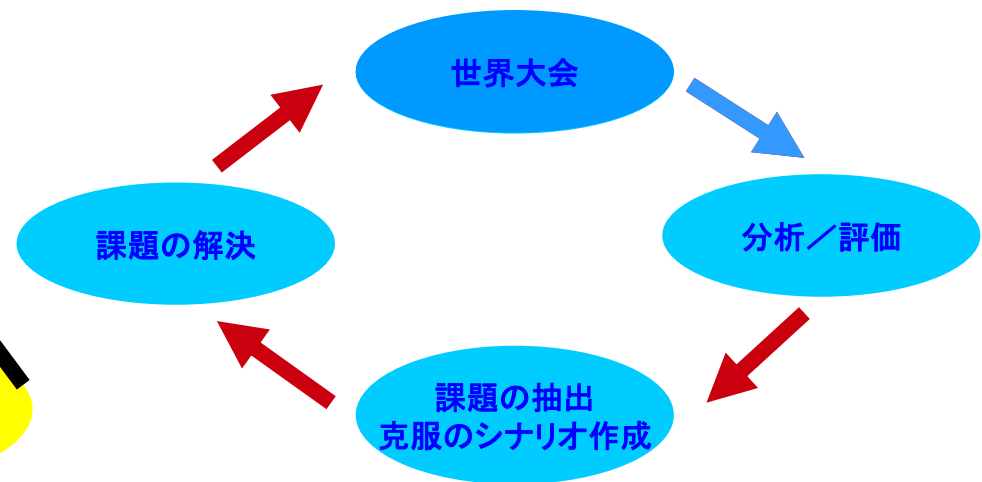
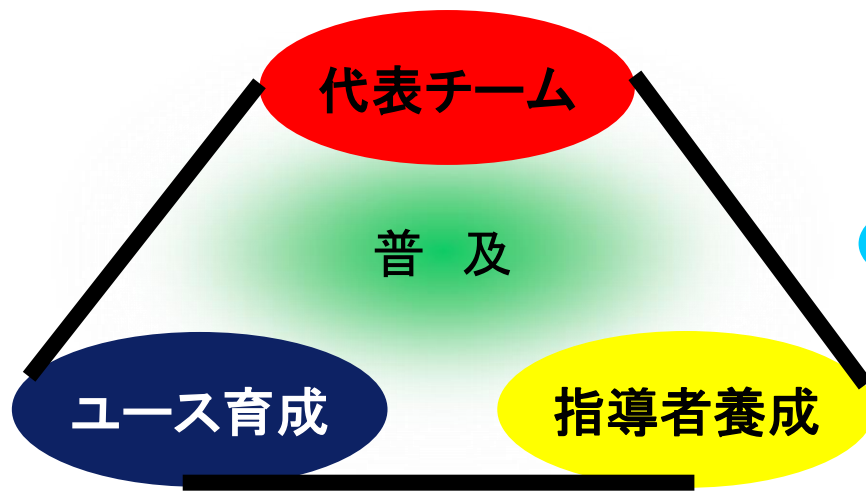
ユース育成

普及

指導者養成



継続すること



Japan's Way の確立

- 属人的→システムとしての強化体制
- 三位一体の強化策の更なるブラッシュアップ

謙虚に学び
続ける姿勢

~~OR~~
AND

日本人の誇り
を胸に闘う



OSTOV-ON-DON

FIFA

#worldcup

2018 FIFA WORLD

СПАСИБО

СТАРАЯ

RESPECT PROJECT



大切に思うこと

DREAM

夢があるから強くなる

感動産業

AFC U-16選手権 マレーシア 2018

U-16日本代表 優勝



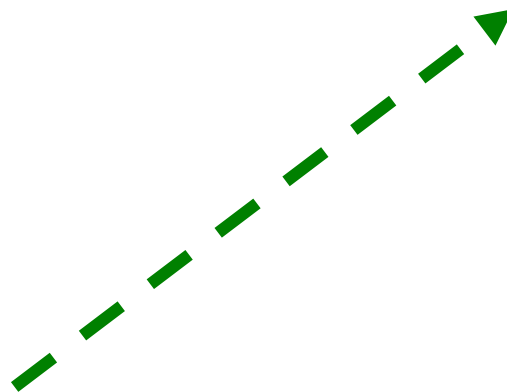
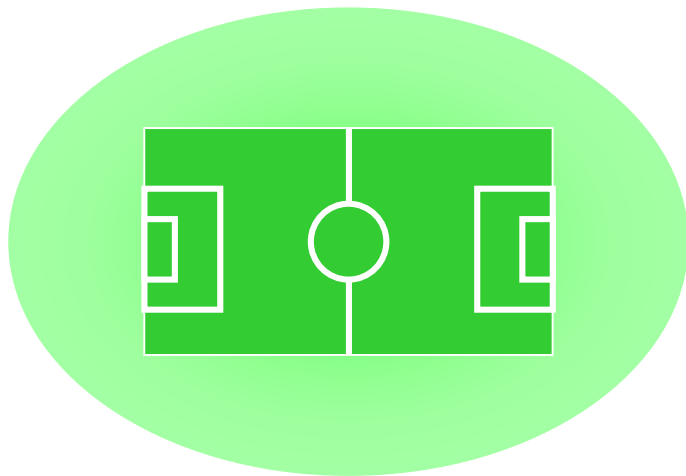
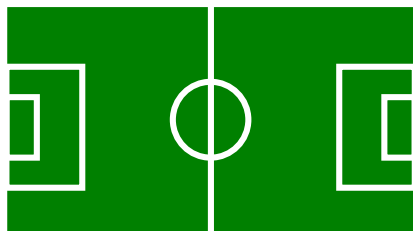
育成日本復活！

我々は、選手の未来に触れている

アンディ・ロクスブルク

世界基準

世界のトップトップ



オフザピッチ、オンザピッチ
両面からの取り組みで世界を目指す！

世界と戦うから見えてきた！

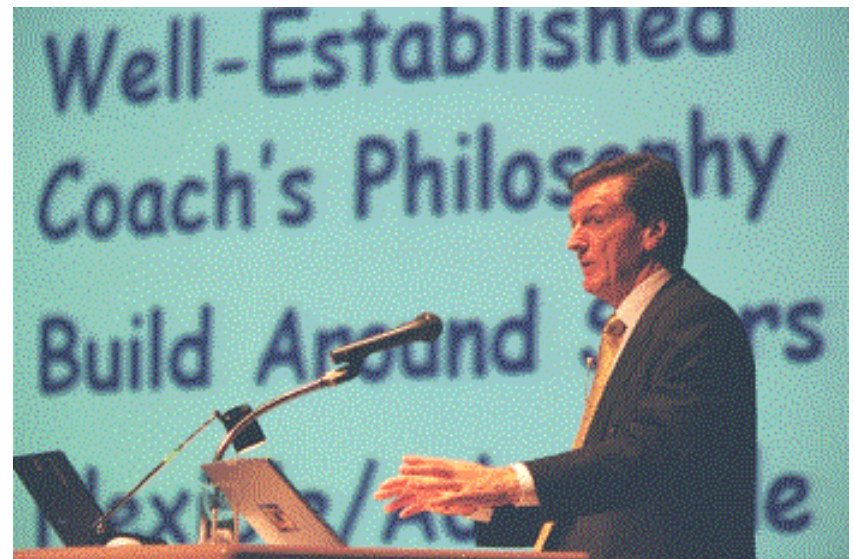
何が必要か！

ピッチの上だけでは解決しない

育成のサッカーのフィロソフィー

アンディ・ロクスブルク

「指導者は選手の未来に触れている」

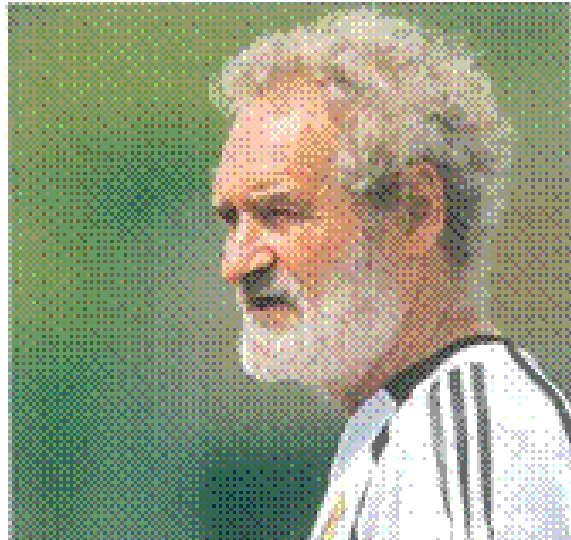


「育成のサッカーはしつけである」

クロード・デュソー

「判断する材料（基本戦術）がなければ
的確な判断はできない」

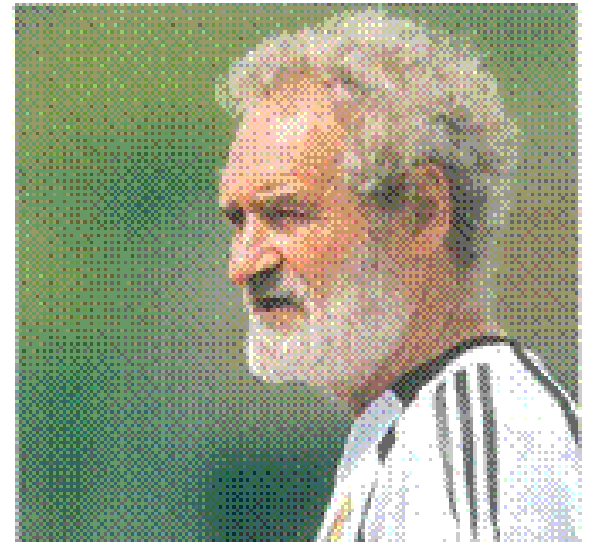
「判断の基準をもっていない選手に
自由を与えることはできない。」



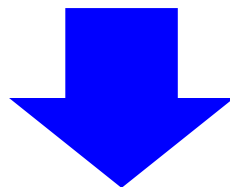
育成のサッカーのフィロソフィー

クロード・デュソー

「学ばない子どもは知らない大人になる」



結果を出してきた時に共通



基本の徹底

基本を徹底し続ける

1960年代 デトマール・クラマー氏



パス & ゴー
ルックアラウンド
ミートザボール

メキシコオリンピック銅メダル

基本を徹底し続ける

基本に戻る

1992年～ ハンス・オフト氏



トライアングル
アイコンタクト
スモールフィールド

コーチング

1993年ドーハの悲劇
(W杯出場目前に迫る)

基本を徹底し続ける

1998年- フィリップ・トルシエ氏



ウェーブ等
基本の徹底

ワールドカップベスト16

基本を徹底し続ける

1998年- フィリップ・トルシエ氏



理解のないメディア 「型にはめる」と喧伝

実際は判断のベース
判断のための基本の徹底

基本を徹底し続ける

2006年- JFAアカデミー



基本の徹底

⇒ 「型にはめる」「判断できない」「個性がない」

判断のため、個性の発揮のための基本の徹底

岡田、城福等各年代日本代表監督：

**基本をベースにムービングフットボール
全員がハードワーク**



岡田武史監督 コンセプト

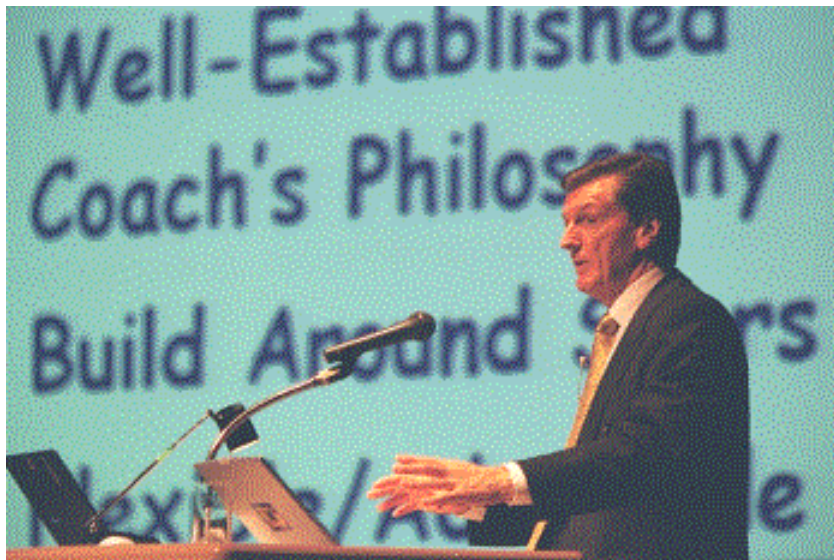
全員攻撃、全員守備で、攻守にわたって
アグレッシブにハードワークする

シンプルにボールを動かしながら組み立てていく。
アタッキング1/3では点をとるためにリスクを冒していく。
攻守の切り替えはチームの命。
ボールへのプレッシャーとカバーリング。

1人が1km余計に走る。
世界がやっていないからこそやる。



選手は勝手には育たない。
タレントが偶然育ってくるのを待つのもいいだろう。
しかしそれでは永遠に待ち続けることになるかもしれない。



アンディ・ロクスブルク

2003. 1. 12

第3回フットボールカンファレンス

スポーツには力がある。

人を変える力

社会を変える力

地域や国を変える力

国際的プレゼンス、アイデンティティ
国策として取り組む必要

⇒サッカーは一番の象徴となりうる



Fair Playの原点

リスペクト 「大切に思うこと」



仲間、相手、指導者、審判、観客、運営、
ゲーム、ルール、施設、用具…

互いに大切に思うこと



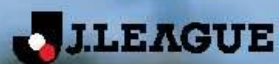
サッカー、スポーツを文化に





大切に思うこと

—RESPECT PROJECT—



JFA 夢 FIELD



Copyright © 2018 MITSUBISHI JISHO SERVICE INC. TODA CORPORATION All Rights Reserved.



JFAナショナルフットボールセンター施設案



ピッチAパース案

(仮称) JFAナショナルフットボールセンター建設計画

戸田建設・三井物産設計



ピッチビューデラスから見るピッチA

施設配置図(イメージ図) | 8





Copyright©2010 MITSUBISHI JISHO SEKKI INC. All Rights Reserved.
TODA CORPORATION

ナショナルフットボールセンター

JFA 夢 FIELD

ここで、日本のサッカーは強くなる。

JFA 夢フィールド



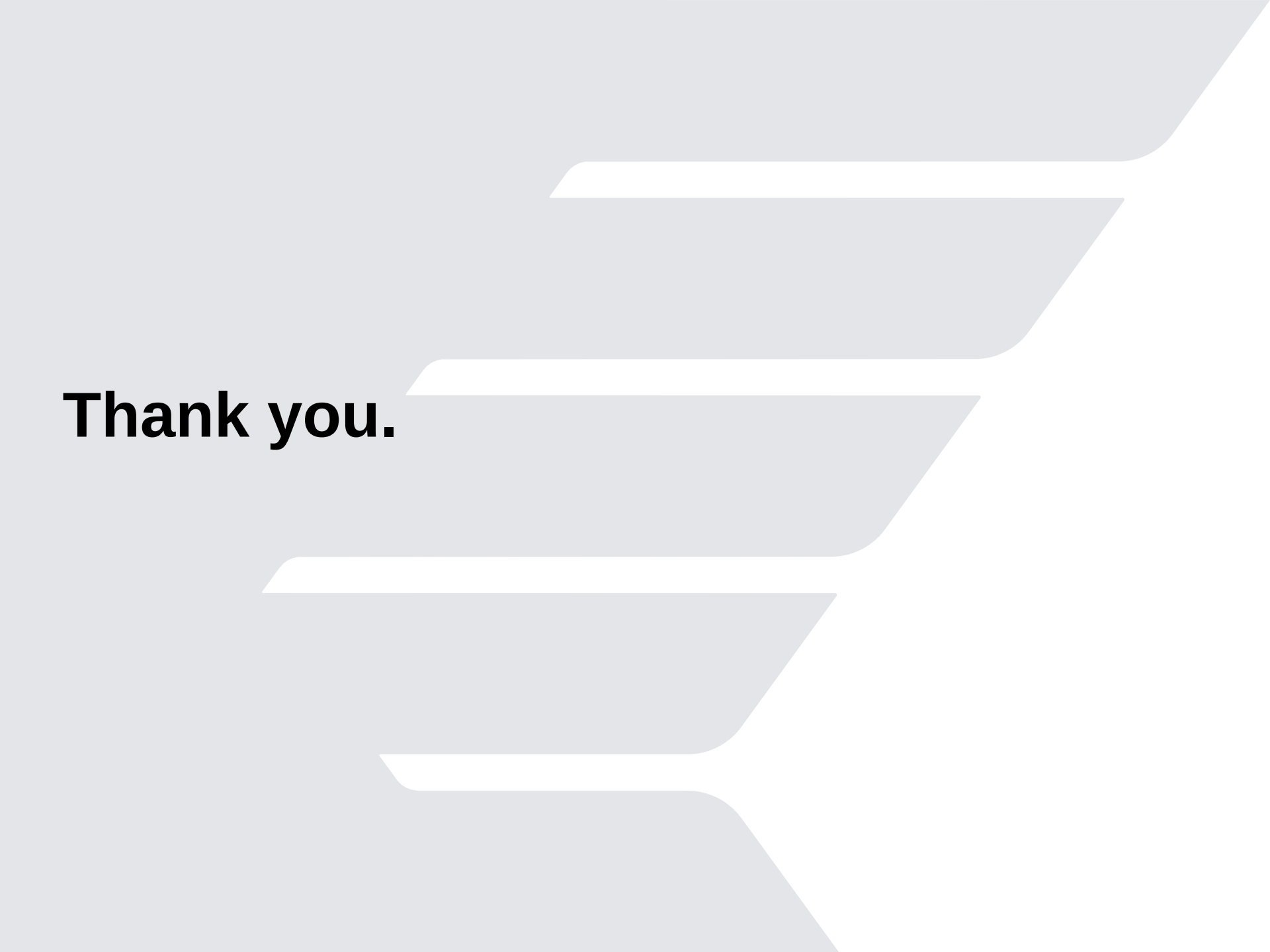
JFA2005年宣言 の浸透と徹底



DREAM

夢があるから強くなる





Thank you.